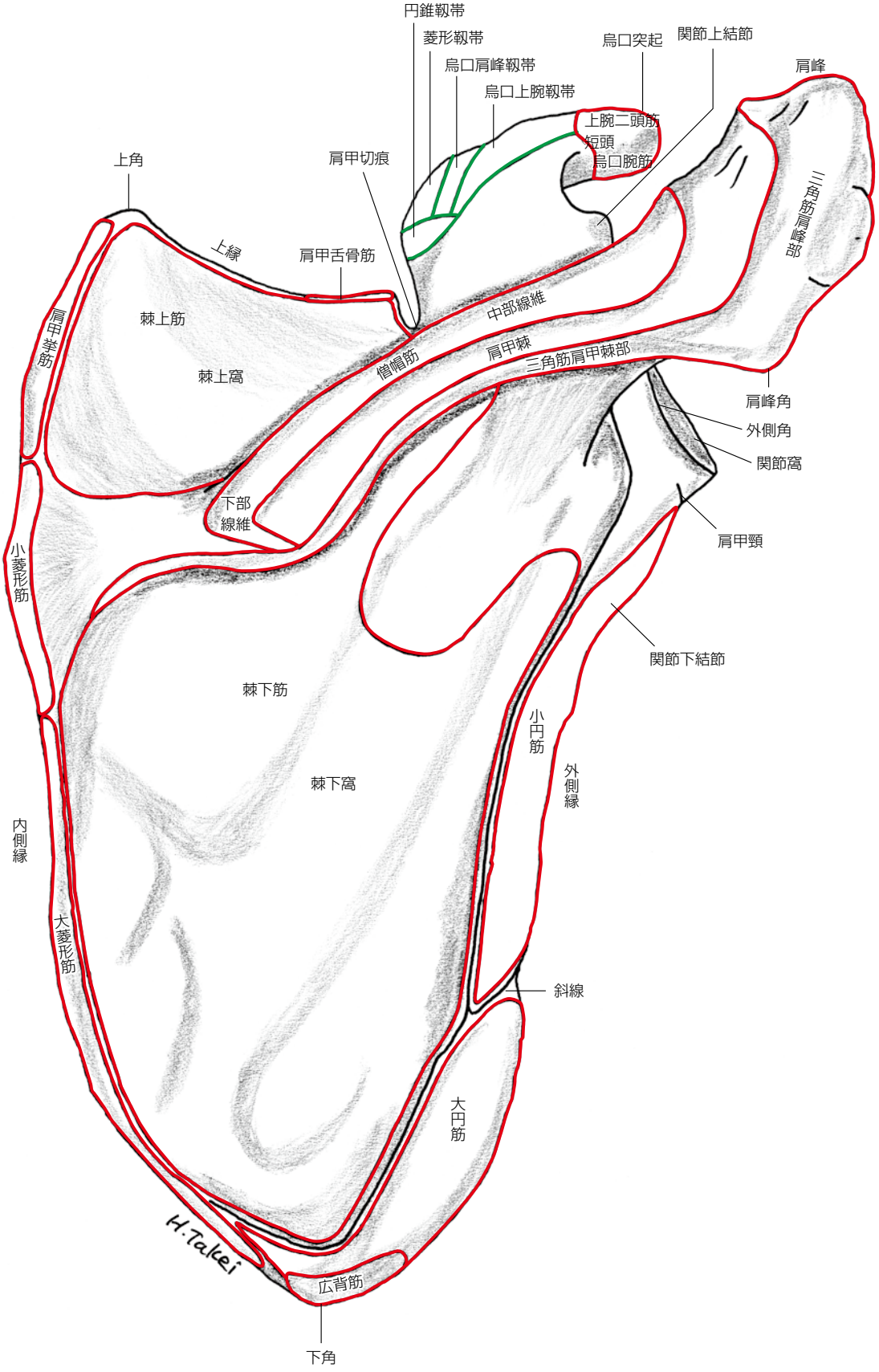
竹井仁著『触診機能解剖カラーアトラス（上・下巻）』第３刷修正点一覧

巻	頁	対　象	修　正
上巻	v（目次）	目次	視覚的な体幹の指標点→視覚的な体表の指標点
	x（目次）	目次	前側腹部筋群→前側腹筋群
	29	③関節腔の2行目	，また関節軟骨に･･･→，関節軟骨に･･･
	32	表3-5　横足根関節	縦アーチを減少させる回外位→縦アーチ長を減少させる回外位
	42	見出し	視覚的な体幹の指標点→視覚的な体表の指標点
	86	触診方法②	･･･肩甲棘基部･･･→･･･肩甲棘基部･･･
	104	図3-47	大腿直筋→大腿直筋反転頭
	105	図3-48	（左側の）大腿直筋→大腿直筋反転頭　（右側の）大腿直筋→大腿直筋直頭
	124	胸骨柄のクリニカルビューポイント	･･･胸骨体上縁･･･→･･･胸骨上縁･･･
	131	①2行目	肋骨体前面→肋骨体前部
	140	図3-58	三角筋肩峰部と三角筋肩甲棘部の指示を入れた（別図を見よ）
	141	図3-59	三角筋中部線維→三角筋肩峰部
	142	図3-60	三角筋前部線維→三角筋鎖骨部
	142	図3-61	三角筋前部線維→三角筋鎖骨部
	157	図3-64	鉤突窩と橈骨窩の指示を入れ替える
	190	月状骨のクリニカルビューポイント	･･･舟状骨，三角骨と･･･→･･･舟状骨，内側は三角骨と･･･
	197	クリニカルビューポイント2. 3行目	橈骨－舟状骨，橈骨－月状骨→橈骨－舟状骨，月状骨
	197	クリニカルビューポイント2. 6行目	尺骨に対する三角骨の動きを確認する→関節円板と一緒に固定した尺骨に対する三角骨の動きを確認する.
	214	図3-81	（深）鷲足→（浅）鷲足
	214	図3-81	外側結節の指示を入れた（別図を見よ）
	227	クリニカルビューポイント2.	･･･合わせて動く. →･･･合わせて動く. 背屈時には腓骨が挙上・内旋し，底屈時には下制・外旋する.
	227	クリニカルビューポイント3.を追加	3.足関節内反捻挫受傷時に，膝折れを防ぐために膝を伸展しようとした瞬間に，大腿二頭筋が伸張反射で収縮し，腓骨頭を頭背側に引き上げて機能異常を生じさせることがある（筋のp.498参照）.
	228	図3-88	内側種子骨と外側種子骨が逆
	235	クリニカルビューポイント4.	立方骨→舟状骨
	238	触診方法	･･･触れる. 内側種子骨の方が外側種子骨よりも大きい. →･･･触れる. 外側種子骨の方が内側種子骨よりも大きい.
	248	クリニカルビューポイント3.を追加	3.足関節内反捻挫受傷時に，立方舟関節において立方骨が足背外側へ変位することがある. その際には，舟状骨と外側楔状骨に対して立方骨を足底内側に戻す関節モビライゼーションが有効となる（骨・関節のp.227，筋のp.498参照）.
	280	図4-9	内側手根側副靱帯と外側手根側副靱帯の指示を入れ替える
	292	腸脛靱帯　走行	大転子の下方から脛骨･･･→腸骨結節と，一部は大殿筋前上部および大腿筋膜張筋との停止腱として起こり，脛骨･･･
	296	図4-19	踵立方靱帯と踵舟靱帯の指示を入れ替える
下巻	vi（目次）	目次	前側腹部筋群→前側腹筋群
	ix（目次）	目次	視覚的な体幹の指標点→視覚的な体表の指標点
	335	部位の図	修正（別図を見よ）
	335	触診図左	左右反転
	335	触診図右	修正（別図を見よ）

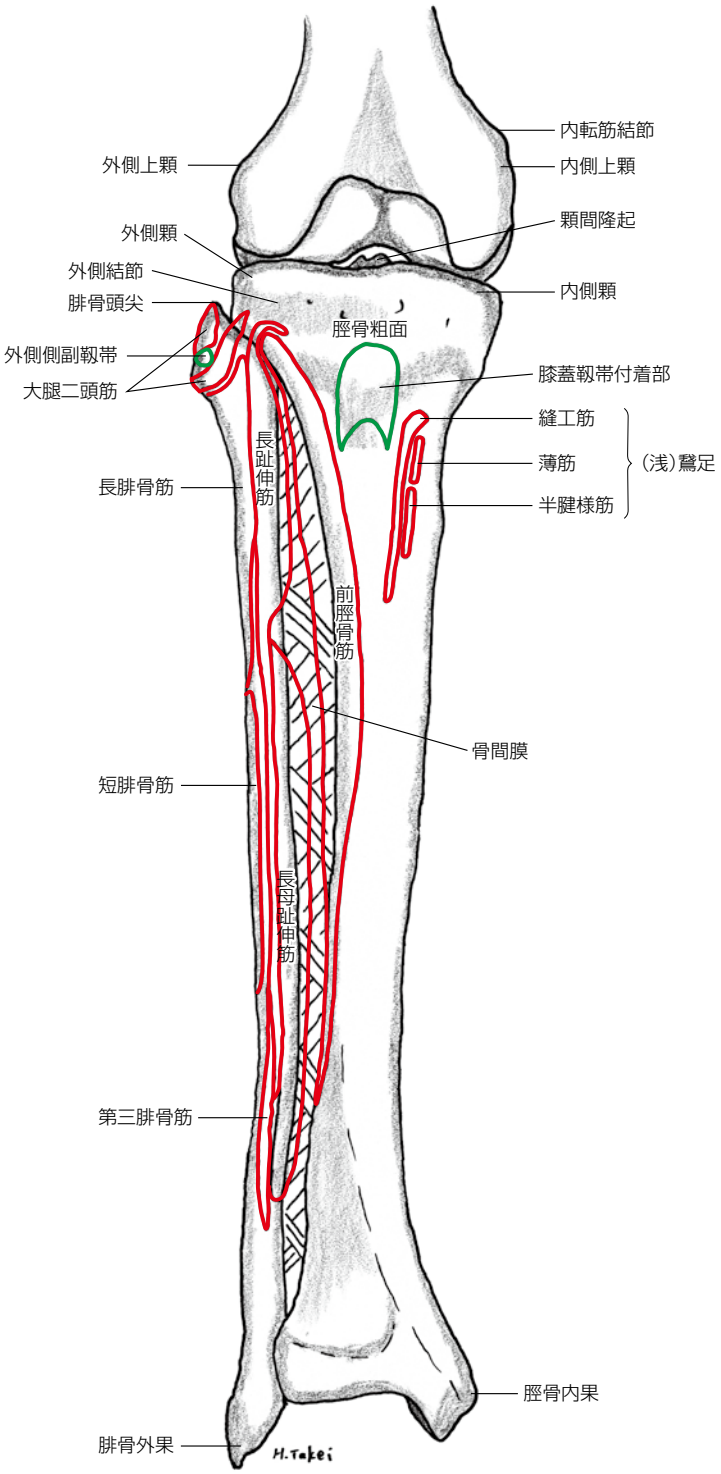
338	触診方法③	頸部を･･･. →肩の挙上に軽く抵抗を与えて，筋の収縮を感じる. あるいは，頸部を対側に軽度側屈･回旋し，筋をやや伸張した位置から，肩の挙上に軽く抵抗を与えて，筋の収縮を感じてもよい.
349	部位の図	修正(別図を見よ)
349	触診図右	修正(別図を見よ)
352	部位の図	修正(別図を見よ)
352	触診方法　2行目	覆われる部位:起始停止作成図は，→覆われる部位は，
354	部位の図	修正(別図を見よ)
362	見出し	前側腹部筋群→前側腹筋群
367	触診図③右	修正(別図を見よ)
367	触診図⑤右	修正(別図を見よ)
370	作用	･･･腰椎伸展，骨盤後傾. →･･･腰椎伸展. 立位で骨盤が安定した状態では骨盤後傾.
370	クリニカルビューポイント1.	後腹部筋群→後腹筋群
375	クリニカルビューポイント3.を追加	3. 肩関節屈曲時に，広背筋の短縮で可動域が制限される場合には，同側あるいは両側股関節を屈曲して骨盤を後傾させることで広背筋のストレッチング効果が高まる.
388	作用	鎖骨部:･･･水平屈曲. →･･･水平屈曲，外転60°以下で内転，外転60°以上で外転.
416		416頁クリニカルビューポイントの1と，417頁触診方法1の文章を入れ替える.
424	部位の図	修正(別図を見よ)
446	起始	･･･前腕骨間膜，尺骨鉤状突起内側･･･→･･･前腕骨間膜，一部の小さな筋束は尺骨鉤状突起内側と上腕骨内側上顆. ･･･
453	起始	有頭骨，第2･3中手骨底，･･･→有頭骨，小菱形骨，第2･3中手骨底，･･･
457	触診方法①	小指外転筋と小指屈筋･･･→小指外転筋と短小指屈筋
459	触診方法	･･･虫様筋をゆるめた･･･→･･･虫様筋を抑制した･･･
460	触診方法	･･･虫様筋をゆるめた･･･→･･･虫様筋を抑制した･･･
506	触診方法	･･･長趾伸筋を抑制した状態で，･･･触れる. →･･･長趾伸筋をゆるめた状態で，･･･触れる. あるいは長趾伸筋を収縮させないように，他動的に母趾を屈曲位に保持してもよい.
513	触診方法①	･･･腓腹筋の両足に･･･→･･･腓腹筋の両側に
534	クリニカルビューポイント3.を追加	3. 外反母趾では，母趾外転筋が内側種子骨とともに外側に移動するため，母趾内転筋が内転作用をもつようになる. また，長母趾屈筋は外側に移動し，外反を助長することになる
535	1行目英語名	flexer･･･→flexor･･･
560	図6-11	腸腰筋の指示を入れた(別図を見よ)
586	図7-13	腸腰筋の指示を入れた(別図を見よ)
590	触診方法③	･･･，足部背屈，回外位･･･→･･･，足部背屈，回内位･･･
592	触診方法④	足部を底屈，内反すると･･･→足部を底屈，回外すると･･･
593	触診方法②	足部背屈，回内位で･･･→･･･，足部背屈，回外位で･･･

〈 別 図 〉

p.140　図 3-58


円錐靱帯
菱形靱帯
烏口肩峰靱帯
烏口上腕靱帯
烏口突起
関節上結節
肩峰
上腕二頭筋
短頭
烏口腕筋
上角
肩甲切痕
上縁
肩甲舌骨筋
三角筋肩峰部
肩甲挙筋
棘上筋
中部線維
僧帽筋
肩甲棘
三角筋肩甲棘部
棘上窩
肩峰角
外側角
関節窩
下部線維
肩甲頸
小菱形筋
関節下結節
棘下筋
小円筋
外側縁
棘下窩
内側縁
大菱形筋
斜線
大円筋
H.Takei
広背筋
下角

p.214　図 3-81


内転筋結節
外側上顆
内側上顆
顆間隆起
外側顆
外側結節
内側顆
腓骨頭尖
脛骨粗面
外側側副靱帯
膝蓋靱帯付着部
大腿二頭筋
縫工筋
薄筋
半腱様筋
(浅)鵞足
長趾伸筋
長腓骨筋
前脛骨筋
骨間膜
短腓骨筋
長母趾伸筋
第三腓骨筋
脛骨内果
腓骨外果
H.Takei

p.335　上（部位の図）

p.335　触診　右の図

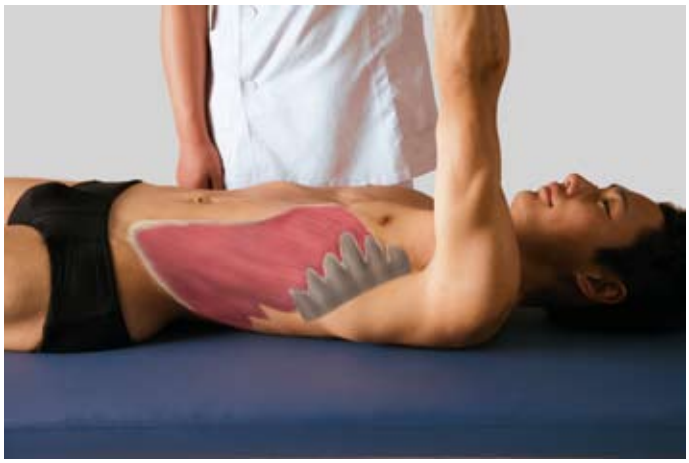
p.349　上（部位の図）

p.349　触診　右の図

p.352　上（部位の図）

p.354　上（部位の図）

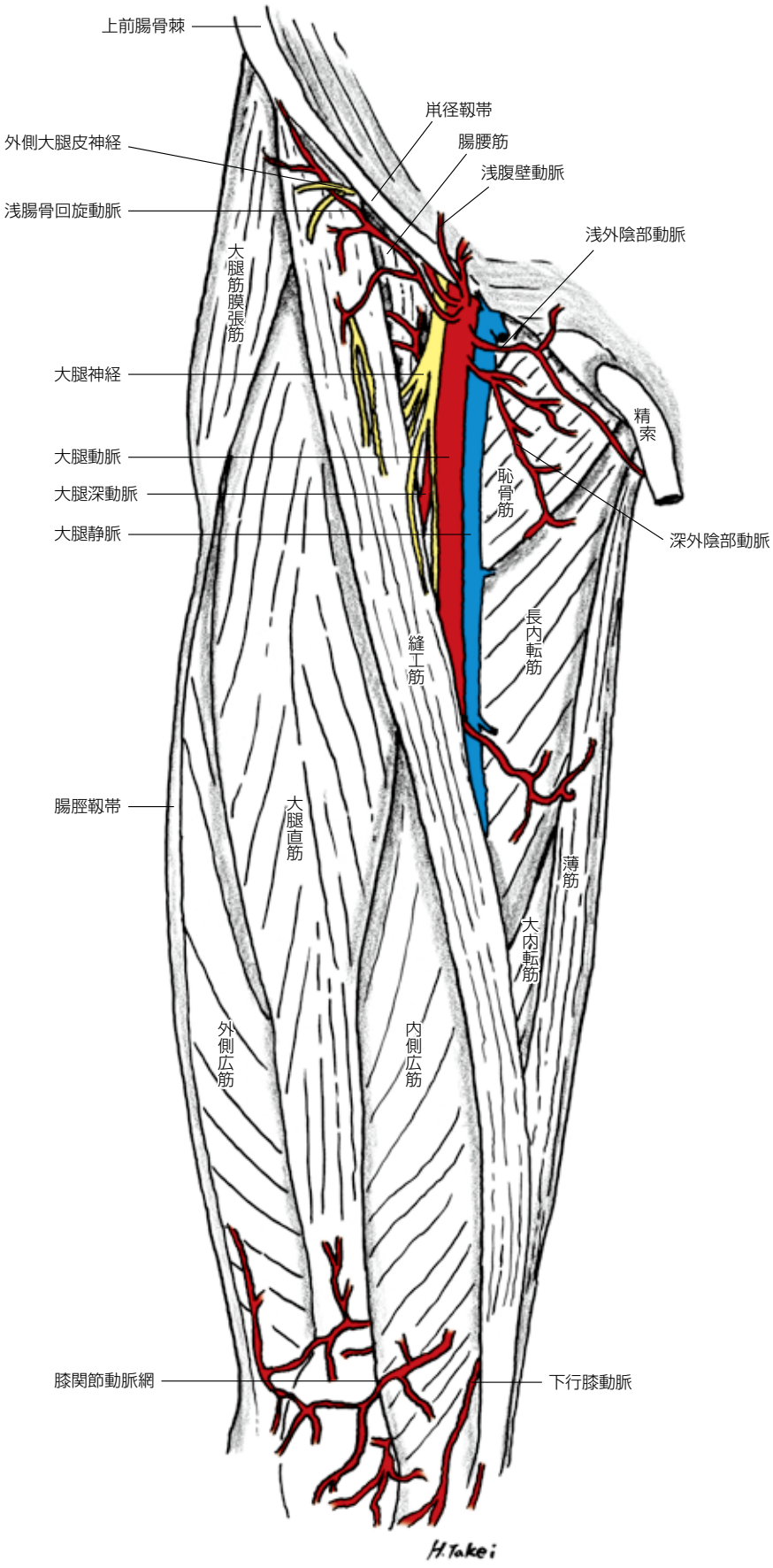
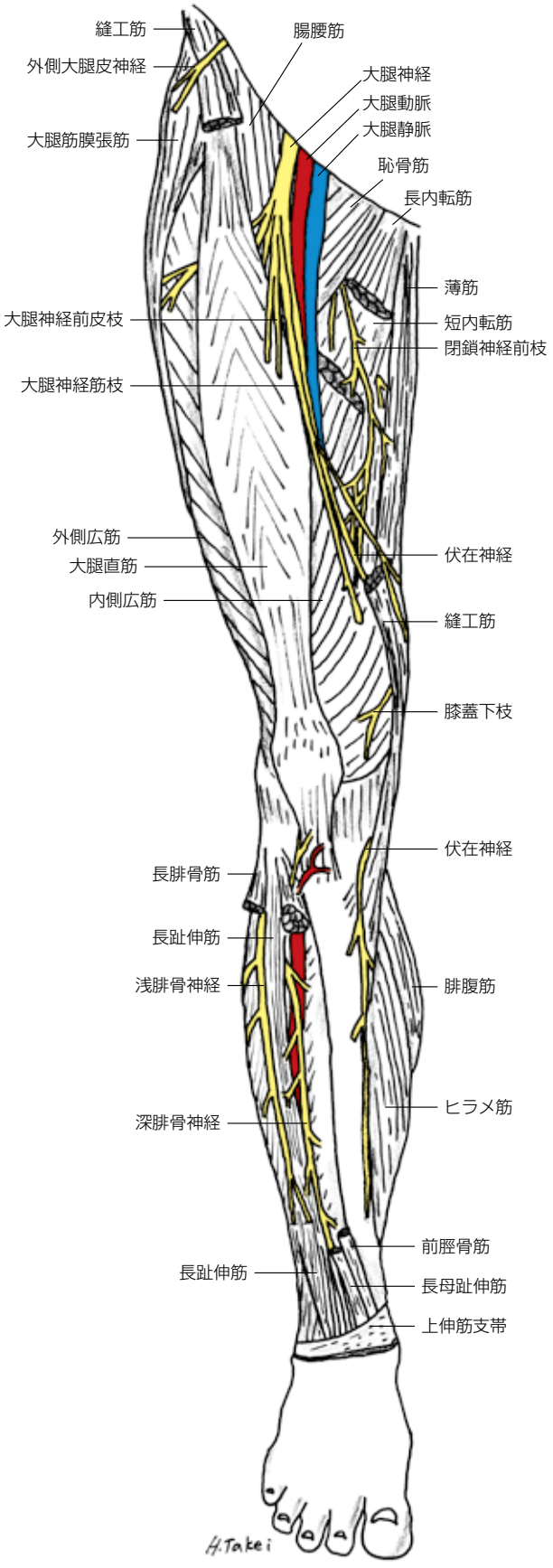
p.367　触診図 3　右の図



p.367　触診図 5　右の図

p.424　上（部位の図）

p.560　図 6-11



p.560　図 7-13